

Klaviertrio-Abend mit zwei wiener Streichern

ウィーンから二人の演奏家を迎えて

華麗なるピアノトリオの世界

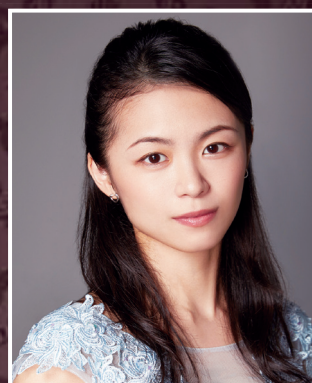
共演ピアニスト 早坂 有里亜・竹内 俊平・前田 真澄



Yuria Hayasaka



Shumpei Takeuchi



Masumi Maeda

Franz
Siegert
Violin



Till
Schüßler
Violoncello



Program

ハイドン：ピアノ三重奏曲 第25番 ト長調 Hob.XV:25 「ジプシー」《pf. 早坂 有里亜》
J. Haydn: Klaviertrio Nr.25 G-Dur "Gypsy"

ショスタコーヴィチ：ピアノ三重奏曲 ハ短調 第1番
D. Shostakovich: Klaviertrio c-moll Nr.1

ブラームス：ピアノ三重奏曲 第1番 ロ長調 作品8 《pf. 竹内 俊平》
J. Brahms: Klaviertrio H-Dur Op.8

メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲 第1番 ニ短調 作品49 《pf. 前田 真澄》
F. Mendelssohn Bartholdy: Klaviertrio Nr.1 d-moll Op.49

2024. 9月23日 《月・祝》 19:00 開演 (18:30 開場)
東京オペラシティ リサイタルホール

京王新線「初台」駅下車、
東京オペラシティ 出口より直結。
03-5353-0789

全自由席 ¥4,500 ※未就学児の方のご入場はご遠慮ください。



[前売] チケットぴあ <https://t.pia.jp/>・東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999・ソレイユ音楽事務所 <https://www.soleilmusic.com>

主催●ソレイユ音楽事務所 03-3863-5552 後援●オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム東京 協力●株式会社テンポプリモ

Klaviertrio-Abend mit zwei wiener Streichern

ピアニスト

3 Pianisten



早坂有里亜 Yuria Hayasaka

常盤木学園高等学校音楽科、東京音楽大学器楽専攻(ピアノ)を経て同大学大学院研究科(修士課程)器楽専攻鍵盤楽器研究領域(ピアノ)修了。

第21回フリーゲルピアノコンチェルトフェスティバル「夢コン」グランコンチェルト部門優秀演奏賞(1位)。第4回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan 大学・一般A部門銅賞。第15回東北ショパン学生ピアノコンクール大学生部門 銅賞。第1回ダヌビア・タレント国際音楽コンクール(ハンガリー)ピアノ部門ディプロマ賞。

これまでにワルシャワ、ニース、ブダペストにて演奏会出演。東京音大成績優秀者による春の演奏会及び卒業演奏会出演。

カールマン・ドラフィー、レーティ・バラージュ、フィリップ・アントルモン、ジャン＝マリー・コテ各氏のレッスンを受講。

これまでにピアノを土山真理子、平岡百合子、一柳麻衣、一柳和男、鷺見加寿子、後藤美由紀、赤松林太郎、吉田友昭の各氏に師事。室内楽を山洞智氏に師事。



竹内 俊平 Shumpei Takeuchi

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業、同大学院修士課程修了。ショパン音楽大学、モスクワ音楽院にてディプロマ取得。ソロの他、伴奏や室内楽でも活躍する。ハチャトゥリアンの助手を務めていたコンスタンチン・シロウニアン氏、またウィーンの三羽鳥の1人イェルク・デームス氏の下で学ぶ。ロシア、ポーランド、スペイン、ドイツ、フランス、イタリア、オーストリア、アメリカ合衆国など世界各国を巡り研鑽を積む。2015年、ザルツブルグ、ミラベル宮殿「大理石の間」にて演奏会に出演。2018年、スペインの音楽祭「Beyond the music」に講師として参加。白寿ホールにてアドリアン・コックス氏と2台ピアノで共演。2019年、ウィーン放送交響楽団の首席奏者らで構成される「ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団」と白寿ホールにて共演。2023年、CD「J.S. バッハ：平均律クラヴィーア曲集第1巻」をリリース。



前田 真澄 Masumi Maeda

山形県立山形北高等学校音楽科を首席で卒業。桐朋学園大学音楽学部演奏学科、同大学研究科を修了した後、ウィーン国立音楽大学ピアノ科にて研鑽を積む。

帰国後は、ソレイユ音楽事務所所属日本人アーティストとして、アドリアン・コックス氏と2台ピアノを幾度となく共演。日墾友好150周年記念公式コンサートでは、ラズモフスキー弦楽四重奏団と共演。現在も室内楽に積極的に取り組む傍ら、ソリストとしてはバッハの楽曲を中心に、演奏動画を定期的に公開している。(YouTubeチャンネル：<http://www.youtube.com/@masumimaeda6920>) 桐朋学園大学音楽学部附属「子供のための音楽教室」ピアノ実技科講師兼教務として、教室の取りまとめ役を務める。その他、各種コンクールの審査員を務め、入賞者を多数輩出するなど後進の育成に励んでいる。これまでにピアノを武田紀代美、江澤聖子、Wolfgang Watzingerの各氏に師事。マスタークラス等で練木繁夫、Jacob Leuschnerの各氏に師事。室内楽を練木繁夫、松原勝也、田中雅弘の各氏に師事。Official Website：<https://www.masumi-pianoforte.com/>

弦楽器奏者

2 Streicher

フランツ・ズィーゲルト Franz Siegert, Violin



1981年ドレスデン生まれ。2009年よりウィーン放送交響楽団のコンサートマスターを務める。

16歳よりトロッシゲン音楽大学の高才能クラスでルドルフ・ランプ教授に師事、その後ウィーン国立音楽大学でクリスティアン・アルテンブルガー教授に師事、2009年最高位の賞を得て卒業する。在学中からグスタフ・マラー青少年管弦楽団のコンサートマスターを務め、2007年にはヨーロッパ文化財団賞を受賞

する。またバイエルン国立歌劇場、バイエルン国立管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団(ロンドン)、ウィーン室内管弦楽団、グルベンキアン管弦楽団(リスボン)、バスク国立管弦楽団(サン・セバスチャン)のゲストコンサートマスターとして招かれる。名指揮者クラウディオ・アバドの招待で、ポーロニャのモーツァルト管弦楽団にも在籍。

ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団の第1ヴァイオリン奏者として度々来日。2018年カルクリーナ・ピアノトリオのメンバーとしてアメリカツアーを行う。2018年よりリンツのブルックナー管弦楽団のゲストコンサートマスターにも就任。

ティル・シュスラー Till Schüßler, Violoncello



シュトゥットガルトに生まれる。8歳で兄妹とのピアノトリオをはじめ、公の演奏活動を行う。

ケルン国立音楽大学にてクルト・ヘルツブルッフ、ウィーン国立音楽大学にてバレンティン・エルベンの両教授に師事。その間、アマデウス弦楽四重奏団、アルバン・ベルク弦楽四重奏団にも師事。

1989年ハーグ国際音楽コンクールなど数々のコンクールで受賞。

ウィーン室内管弦楽団首席チェロ奏者を経て、現在ウィーン放送交響楽団奏者。また室内楽奏者としてもウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団奏者として度々来日する他、多種の編成でヨーロッパ、アジアの各地で活躍。

演奏の傍らウィーン・プライナー音楽院の教授を経て、夏期講習、マスタークラスなどで後進の指導に当たる。

演奏楽器：ベルナルデル